

協議事項 3 コミュニティバス運行事業の評価

平成 28 年 3 月に「合志市地域公共交通網形成計画」を策定し、コミュニティバスのあり方や方向性を明確にするため「コミュニティバス運行指針・指標」を設定しております。

当該計画期間（令和 5 年度）においては、下記の指標・指針に基づきコミュニティバス運行事業の評価を行いました。

●令和 5 年度コミュニティバス運行事業評価

指 標	R5 実績値	R5 目標値	評価	要因等
	R4 実績値			
	R3 実績値			
公共交通機関を使った市内への移動での乗り換え、乗継が円滑にできていると思う市民の割合	R5 40.1%	52%	未達成	令和 2 年の路線再編から 3 年経過し、乗り継ぎが浸透してきたという意見もある。一方、渋滞によるバスの遅延や乗り継ぎの待ち時間等利便性の面で乗り継ぎが活用できていない現状である。
	R4 45.7%			
	R3 42.3%			
コミュニティバス等の利用者数	R5 86,639 人	92,800 人	未達成	コロナの影響が少なくなったことにより利用者数回復。しかし、当初目標未達。運行形態の見直しを含めた検討が必要。
	R4 77,756 人			
	R3 68,990 人			
公共交通機関を利用している人の割合（年に数回利用）	R5 52.3%	73%	未達成	圏域で行ったバス電車無料の日や運転免許自主返納者への無料券の配付の他、市広報やHPでの情報発信等、新規利用者の掘り起こしを行ったものの、目標未達。
	R4 53.3%			
	R3 47.9%			
市民 1 人当たりのコミュニティバス等の運行委託料	R5 1,806 円/人	800 円/人	未達成	利用者は増加したものの、バスロケーションシステムの導入費用をはじめとした運行費用の増加により委託料増加となった。
	R4 1,706 円/人			
	R3 1,729 円/人			

(※) バスロケーションシステムとは、GPS 情報を活用した運行中のバスの現在地がパソコンやスマートフォンで確認できるシステムです。

●令和 6 年度の指標について

令和 6 年 3 月に「合志市地域公共交通計画」を策定し、成果指標を新たに定めております。(地域公共交通計画 P78,79)
目標値達成のため、路線再編（運行形態の見直し、運行ルートの見直し等）を含めた検討を実施します。

指 標	直近実績値	R6 R7 R8	目標値 目標値 目標値	R10 目標値
コミュニティ交通の利用者数	86,639 人 (R5 年度)	R6 R7 R8	88,200 人 89,400 人 90,600 人	93,000 人
コミュニティ交通の収支率	9.0% (R5 年度)	R6 R7 R8	9.2% 9.4% 9.6%	10.0%
公共交通を利用している市民の割合(週に 1 回以上)	4.7% (R5 年度)	R6 R7 R8	4.9% 5.1% 5.3%	5.5%
乗り継ぎが円滑にできている市民の割合	40.1% (R5 年度)	R6 R7 R8	44.0% 48.0% 52.0%	60.0%

主要な駅・バス停の乗降者数	御代志 12,453 人 アンビー熊本 30,483 人 (R5 年度)	R6 御代志 13,700 人 アンビー熊本 32,000 人 R7 御代志 14,900 人 アンビー熊本 33,500 人 R8 御代志 16,400 人 アンビー熊本 35,000 人	御代志 18,600 人 アンビー熊本 38,000 人
レターバスの遅れ時間 (南ルート) ※バスロケーションシステムにより集計した終点での平均遅延時間	11 分 58 秒 (R5 年度)	R6 4 分以内 R7 4 分以内 R8 4 分以内	4 分以内
市民 1 人当たりのコミュニティバス等の運行委託料	1,806 円/人 (R5 年度)	R6 1,780 円/人 R7 1,760 円/人 R8 1,740 円/人	1,700 円/人